

## 中期経営計画「ASAHI RISING SUN 2020」の見直しについて

当社は、2021年3月期を最終年度とする5カ年の中期経営計画「ASAHI RISING SUN 2020(ARS2020)」(2016年6月1日発表)を策定・推進して参りましたが、直近の事業環境を踏まえ精査した結果、その内容について見直しを行いましたのでお知らせいたします。

### 1. 見直しの内容

中期経営計画の基本的な考え方と施策については、継続して推進することとし、以下のとおり、最終年度(2021年3月期)の経営数値目標を修正いたしました。

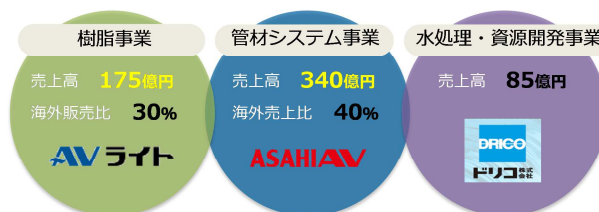
2016年 公表値	中期経営計画 ASAHI RISING SUN 2020			
	2016年度計画	2017年度	2018年度	2020年度計画
売上高	430億円			600億円
営業利益	16億円	公表無し	公表無し	35億円
ROE	—			5%以上

2018年 修正値	中期経営計画 ASAHI RISING SUN 2020			
	2016年度実績	2017年度実績	2018年度計画	2020年度計画
売上高	420億円	502億円	550億円	<b>630億円</b>
営業利益	21億円	34億円	35億円	<b>42億円</b>
ROE	2.8%	6.8%	7.0%	<b>7%以上</b>

旭有機材「ARS2020」フレームワーク (2018年見直し)



売上高 <b>630億円</b>	営業利益 <b>42億円</b>	ROE <b>7%以上</b>
------------------	------------------	-----------------



事業領域拡大 [M&A]  
各事業領域の周辺拡大を目指す

主要戦略	商品戦略改革 (お客様目線・スピードアップ・ニッチトップ)
	海外売上の拡大 (商品戦略・在庫・人材)
	サプライチェーン改革 (国内外の商流・物流改革)
	ものづくり革新 (生産性向上・スマートファクトリー)
	全社レベルでのコストダウン

## 2. 見直しの理由

2016年度よりスタートした中期経営計画（ARS2020）に則り、各部門において具体的施策を実行して参りました。この結果、売上高、営業利益ともに着実に拡大し、2019年3月期の計画では、営業利益及びROEが最終年度の経営数値目標を達成する見通しとなっております。

今後も、ARS2020の基本的な考え方のもと、現状に満足することなく、更なる成長と収益力向上を目指すため、経営数値目標の見直しを実施いたしました。

なお、各部門でのこれまでの施策実施内容は以下の通りです。

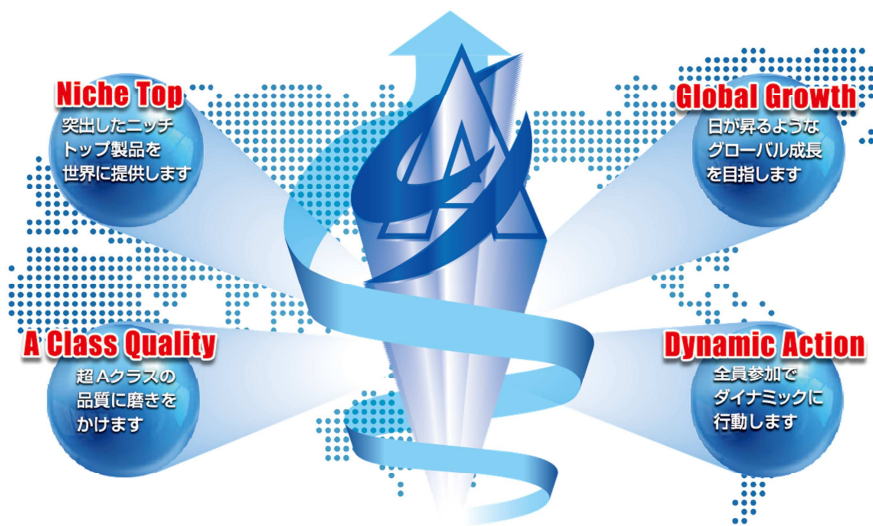
主要戦略	<b>商品戦略改革（お客様目線・スピードアップ・ニッチトップ）</b>
	【管材システム事業】金属代替製品の上市 (大口径バルブ・樹脂製アクチュエータなど)
	【水処理・資源開発事業】資源開発事業の強化・薬剤事業の強化（事業譲渡）
	<b>海外売上の拡大（商品戦略・在庫・人材）</b>
	【管材システム事業】アセアン・中東・南アフリカで販売網拡大（事務所設立）
	【樹脂事業】素形材事業でインド・メキシコに工場立上げ（RCS工場）
<b>サプライチェーン改革（国内外の商流・物流改革）</b>	
【管材システム事業】販社の子会社化ならびに子会社間の合併	
【樹脂事業】素形材事業の直販化（営業権取得）	
<b>ものづくり革新（生産性向上・スマートファクトリー）</b>	
【管材システム事業】先進設備の導入（プロセス可視化の概念実証を実施）	
<b>全社レベルでのコストダウン</b>	
【全社】コストダウンプロジェクト『みらい』の推進	
【樹脂事業】原料価格の安定化（中国子会社の有効活用）	

## 3. 中期経営計画の基本的な考え方（ご参考）

世界のお客様に必要とされる「グローバルニッチトップ企業、ASAHI YUKIZAIブランドの確立」を目指し、その達成に向けて「Niche Top」「A Class Quality」「Global Growth」「Dynamic Action」の4つを活動のキーワードとして掲げ、継続的な成長と収益力向上を目指しています。

（詳細は2016年6月1日発表の『IRニュース』をご参照ください。）

URL: <http://www.asahi-yukizai.co.jp/ir/news.html>



※この中期経営計画の見直しにおける業績目標は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって目標数値と異なる結果となる可能性があります。